

学校でこんなこともできる・ している

子ども読書活動交流集会（学校編）

発表者：大河内 令子
（さいたま市立大砂土小学校図
書ボランティア）
福田 孝子
（三郷市立前谷小学校）
司 会：中村 末子
（越谷市立大間野小学校）
助言者：浅香 都子
（浦和子どもの本連絡会）

事例発表 1 図書ボランティアとして

大河内令子氏
（さいたま市立大砂土小学校図書ボラン
ティア）

1 さいたま市立大砂土小学校の図書ボラン
ティアよみきかせ隊の活動紹介

（1）小学校の概要

児童数は 1,314 名の 38 クラスで、埼
玉県内一のマンモス校。2008 年 5 月、
学校の近くにさいたま市立北図書館が開
館し、恵まれた環境。

（2）小学校の図書ボランティア

図書室整備と読み聞かせとディスプレイ
の 3 つのグループがあり、よみきかせ
隊は 43 名だが、児童数が多いため、ギ
リギリの人数。

（3）よみきかせ隊の活動の歴史

1997 年、薄暗い図書室を一人の母親が
片づけ始めたことから始まり、翌年図書
ボランティア開始。本の修繕の業者にノ
ウハウを教わり、近くの図書室の整った
小学校を見学。

1999 年、当時は親が教室に入るとい
うことに先生たちの理解が得られにくく、
読み聞かせチーム 5 名が、授業の業間休

みに図書室で活動開始。その頃から毎年
勉強会をして、子どもたちのために少し
でもスキルを高めようとしてきた。徐々
に学校の理解も得られ、2004 年 10 月か
ら朝の読み聞かせを 1 年から 4 年生まで、
月 1 回できることになった。その後 5・
6 年生も、2008 年度の 3 学期に朝の読み
聞かせを行い、子どもたちに好評のため、
2009 年度は 11 月からとなった。

（4）現在の活動

朝の読み聞かせは、4・5 月は 1 年生に
毎週木曜日行い、6 月から 1～4 年生に、
11 月からは全学年に月 1 回行う。

また、業間おはなし会として週 1 回月
曜日の 15 分間、図書室横の社会資料室
で読み聞かせをしている。

秋祭りにも参加し、保護者・児童・地
域の方と一緒に交流している。

おはなし会は 2007 年の冬には 1 時間
で絵本の読み聞かせや、ストーリー・テ
リング、ブックトークなどを行った。
2008 年には北図書館でも行い、未来の仲
間である子どもや母親たちと交流できた。

「朝のおはなし会通信」はクラスの先
生との連絡にも役立つとともに、記録と
して残ることが大切。



(5) スキルアップのための勉強会

1999年の読み聞かせ開始当初、当時大宮（現さいたま）市立西部図書館司書の坂本由紀子氏を訪ね、教えを請うた。その後も他市の講座に参加したり、毎年絵本についての勉強会を開き、坂本由紀子氏や大井むつみ氏（東京家政大学講師）、金子浩氏（さいたま市立図書館司書）の講義を受け、厳しい教えの中にも絵本に対して真摯に向かうことを学んだ。

2007・2008年は県立図書館の「地域子ども読書支援事業」を活用して講師を紹介してもらい、お話玉手箱の小林真喜子氏、くれよん文庫の谷岡章子氏を迎え、ストーリー・テリングなどについて学んだ。

2 実際に読んでいる絵本の紹介

よみきかせ隊のメンバーがよく選ぶ絵本のなかから、実際に読んで子どもたちに好評な絵本を紹介。（『まちにはいろんなかおがいて』『かおみえるかな』『いわしくん』『パンプキン』『視覚ミステリーえほん』『おおきくなるっていうことは』『ねえ、どれがいい？』『ねえ、どっちが好き？』など。）

3 おわりに

絵本を読んで自分が楽しいを思った素直な気持ちを大事にしてほしい。子どもたちのキラキラの瞳を見るとやみつきになりやめられない。これからも楽しんで続けていきたい。

事例発表2 司書教諭として

福田孝子氏（三郷市立前谷小学校）

本好きな児童を育てながら読書力を高める
◎地域・学校の概要

三郷市では19年度より「読書の街」として読書を推進している。児童数326名。各学

年2学級の学校。司書教諭と図書主任は兼務。学校司書の配置はなく、学校図書館補助員が1年に13日（1日6時間）の配置だったが、来年度は増える予定。

1 環境づくり

(1) 場の読書環境づくり

子どもたちをひきつけるため、学校図書館の魅力ある整備として、①入りやすいように入口のドアを取り払う、②学校図書館スペースの拡大、③分類をわかりやすく表示、④蔵書のデータベース化などを行った。

また、本が読みたくなる学校全体の環境づくりとして、学校図書館を中心とし、その他に、①「本のわくわく広場」（図書室を拡大したスペース。テーマ別の本の展示・読み聞かせに）、②「本のふれあいルーム」（3階の和室。気楽に本が読めるスペース）、③学級文庫（物語を中心に、子どもたちの身近にすぐ手に取れる本）、④廊下・通路スペース（教室の前の廊下に市立図書館から団体貸出の本。廊下・通路などあらゆるところに「おすすめの本」や様々な本の情報コーナー）



(2) 人材面からの読書環境づくり

ア 各クラスで読み聞かせ

読み聞かせボランティア「たんぽぽ」による各クラスで読み聞かせ（朝週1回）、

わくわく広場で読み聞かせ（昼休み週 1 回）。

イ お話会

読み聞かせボランティア「絵本の会」が子ども読書週間などに 1 時間のおはなし会実施。

ウ 作家による読書ライブ

毎年 1 回実施。低・中・高学年でお話を聞く。充実した読書ライブになるように事前に読み重ねる。

エ 三郷市立図書館の司書によるブックトーク：子どもたちも興味深く聞いている。

オ その他

朝日新聞の「オーサービジット」や講談社のおはなしキャラバン隊など活用できるものはどんどん活用している。

2 授業と読書指導の充実

(1) 読書をサポートする読書カード発行

ア 読書記録カード：自分の読書が目に見える形で 1 年生時から積み重ねていく。

イ 心に残ったよカード：読んで心に残った言葉や文章などをそのまま書き出していくことを積み重ねている。

ウ おすすめの本カード：全校でおすすめの本を紹介し合い、全児童分掲示している。

(2) 授業に関連する図書や資料の提供

教科書で紹介されている本を集めた特設コーナーを設置。また、授業に合わせてその作家の本を学年廊下に出前し展示している。

(3) 読書の質や表現力を高める授業の工夫

例えば、宮沢賢治の生き方や作品のテーマを読み深めたり、児童によるブックトークに興味深く取り組んでいる。

3 読書時間の確保と工夫

(1) 読書タイム

毎週月曜日と第 3 金曜日の朝 15 分。

(2) 学校図書館の貸出

業間休みと昼休みに 1 人 3 冊まで 1 週間の貸出。長期休業日は 1 人 5 冊まで。

(3) ブックバックの活用

3 年前に 6 年生が全校児童分を製作。その後は、新 1 年生の分を 6 年生が製作して卒業。机の横にブックバックをかけ、すきま時間を活用して本に親しんでいる。

(4) よりよい本に出会ってもらうために

「前谷おすすめの本 60 冊（低・中・高各 20 冊）」と「みさとおすすめの本 60 冊（低・中・高各 20 冊）」重複の本もあるので 90 冊読めば読了。卒業までに 90 冊読んでもらう。

4 学校図書館を支えるボランティアの活用

(1) 読み聞かせボランティア「たんぽぽ」

毎週木曜日の朝時間に各クラスでと、毎週水曜日の昼休みにわくわく広場で読み聞かせ。

バザーの収益金で 900 冊の本を寄贈。

(2) 図書作業ボランティア「ひまわり」

月 1 回、購入・寄贈図書の登録や整理。

5 おわりに

身近に本があるという環境や様々な読書の場合は、児童にとって憩いの場であり、本への関心を高める場となっている。読書を楽しむだけでなく、調べ学習などにもつながる。今後も学校図書館が学校教育の中核となるよう工夫を重ね取り組んでいきたい。さらに魅力ある学校図書館づくりのために、ボランティアの方々に期待している。

質疑・意見交換及び助言

Q 福田先生の立場と作家をお呼びする読書ライブについて

A 教員であり担任をしていて、司書教諭と図書主任を兼務している。読書ライブにお願いしたい作家は大勢いるが、魅力的な会になるように低・中・高学年別に3回お話をお願いしているため、幅広く作品がある方をお願いしている。作家に来ていただくとその方の本を多数読み、読書が広がり深まる。予算は学校の予算とPTAから。

Q さいたま市立大砂土小学校の図書ボランティアと学校司書との連携について

A さいたま市立大砂土小学校の場合は、基本的に学校司書と読み聞かせチームの図書ボランティアの活動は別だが、朝読書に使う本で図書室にある本は学校司書が用意。図書室整備については学校司書がリーダーシップを取っている。



Q 三郷市立前谷小学校の図書館の蔵書データのシステム化について

A 前谷小では図書館の蔵書のデータ化が、当面市の取り組みとしては行えないということで、PTAから費用を出してもらって約2年前に実施。前谷小のデータシステム化による貸出の増加の成果が議会で認められ、三郷市全体の小中学校のデータのシステム

化につながった。来年度から図書館補助員さんも増加の予定で、一步ずつ着実にいろいろな場面で進んでいる。地道に、ボランティアの方々のご協力を得て、本好きな子どもたちが1人でも増えればうれしい。

最後に助言者の浅香氏から、「人との出会いのように、本との出会いがあり、好きな本がその子の人生を豊かにする。そのためにも先生とボランティアとの協力がとても大切だ」というまとめがあった。